



釧路東高校 C・S 通信

令和6年3月1日発行 第3号

第3回学校運営協議会報告

令和5年度第3回目学校運営協議会を2月28日(水) 15:15から16:35にかけて本校会議室において蝦名弘幸会長をはじめ、8名の委員に出席していただき実施しました。

蝦名会長から冒頭の挨拶の中で、今年度は、3年生の進路がほぼ決まり、あとは3月1日の卒業式を迎えるだけである状態であるという報告を受けており、本校の人材育成について



前田校長挨拶

で順調にいった学年だ

ったのではないかと、というお言葉をいただきました。その後、前田校長から、令和5年度は学校運営協議会を立ち上げた年であり、これからの予測困難な時代を生きる生徒達に必要な資質能力を身につけさせるためにも、地域探究学習が必要であること、アフターコロナを迎え、生徒達が校外に出て、地域の方々と関わることを通して学んで行くことの重要性についての説明があり、そのためにも地域の方とつないでいただける学校運営協議会の役割がますます大きくなるという話がなされました。



蝦名会長挨拶

その後、事務局から各分掌ごとに今年度の教育活動について報告を行いました。委員からは、「今年度は、昨年度と比べていじめの件数は増加したのか、増えた理由は何か」「本校では、いじめについてどんな問題が増えたのか」「身だしなみを整えることができない生徒や授業に集中できない生徒に、教員はどのように対応しているのか」など学校運営についての質問がありました。事務局からは、教員が生徒に粘り強く注意をし、保護者と連携しながら対応しているという回答がなされ、運営協議会委員の方々に御理解を示していただきました。また進路指導部から今年度の3年生は、結果待ち1名を除いて就職や進学の前向きな進路活動を終えることができたことについて報告がなされたときには、委員から良い評価をしていただいたとともに、2年生や1年生も、来年、再来年と続いて欲しいという意見もありました。



事務局からの説明

続いて事務局から学校評価についての説明がありました。特に教職員の自己評価においては「生徒の美化意識」が一番、低くでており、教職員が粘り強く指導しつつ、教室・廊下等の環境維持を図っていることについて、教職員の苦勞について理解をしていただきました。その他にも委員から超過勤務をしている教員の業務についての質問があり、部活動指導や3年生の進路指導に関わる業務によるものという報告と、今後は年休を取得しやすい環境づくりや業務の平準化を目指していくようにしていきたいという回答をしております。

最後に委員から、東高の生徒は、一人一人の生徒は話をすると、話しやすい良い生徒がたくさんいること、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる生徒が多数いること、毎日、住民の方に挨拶をしてもらえるばかりか、中にはあいさつ運動をしている地域の方に差し入れをする生徒もいるという、本校生徒の心温まる面も紹介され、和やかな雰囲気の中、閉会しました。

御多用のなか、委員の皆様による御意見、誠にありがとうございました。今回の御意見をもとに令和6年度の学校運営に反映させていきたいと思っております。